

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 で診療を受けられる患者さんへ ～臨床研究に関する情報公開について～

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	選定療養費が救急外来受診行動に与えた影響		
研究実施予定期間	院長が研究実施を許可した日～2022年3月		
研究実施診療科	救急科		
研究の倫理審査等	治験・臨床研究審査委員会審査日	2021年8月16日	
	院長が研究実施を許可した日	2021年8月17日	
対象となる方	対象期間内に、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院（旧：名古屋第二赤十字病院）救急外来を受診した方		
対象期間	2011年4月～2021年3月		
研究責任者	所属	救急科	氏名 加藤 久晶
研究の意義	2016年4月の診療報酬改定に伴い、選定療養費が導入されました。選定療養費の導入により、特定機能病院及び一般病床500床以上の地域医療支援病院は、紹介状なしで受診された初診の患者から、初診料に加えて選定療養費を徴収することが義務化されました。選定療養費の導入目的は、診療所や中小病院といった「かかりつけ医」の機能を確立、推進することです。		
研究の目的	当院の病院レベルのデータに基づき、選定療養費の救急外来受診に与える効果を明らかにし、救急外来の適切な利用等にかかる施策へのエビデンスを提供することです。		
研究の方法	対象となる方の臨床情報、医療事務情報について、診療録を振り返って収集し、統計学的に検討します。		
研究に使用するもの	診療録から得られる情報を、匿名化した上で使用します。（年齢、性別、保険情報、搬入経路、受診時間帯、病歴、診断名、治療内容、転機等）		
結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定です。対象者の氏名等の、直ちに個人を特定できる情報を公表することはありません。		
個人情報の保護	対象者の方の情報の使用に際しては、氏名や住所等といった個人を直ちに特定できるような情報とは切り離し、対象者個人とは無関係の番号を付けた上で、研究責任者の責任の下、廃棄するまで厳重に保管・管理します。		

研究の資金源	本研究は特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報は、本研究の目的以外には使用しません。
問い合わせ先	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 救急科 加藤 久晶 電話 052-832-1121 (代表)